

令和元年度

第2回秋田県農山村ふるさと保全検討委員会

【資料1】

中山間ふるさと・水と土保全対策事業等に関すること

中山間ふるさと・水と土保全対策事業等に関すること

1. 秋田県中山間地域土地改良施設等保全基金の概要とその運用について

この基金は、中山間地域において農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、農地の利活用及び保全整備等の促進に対する活動支援や、地域住民活動を推進する人材育成等を図るため造成した基金であり、平成5年～平成12年にかけて10億6千万円を積み立てした。

当課は、この基金の運用益の範囲内で事業を実施してきたが、低金利により、運用益だけで事業費を確保することが困難となり、平成16年度から国指導のもと基金元本を切り崩して事業費に充てている。

＜H30年度運用益 892千円（過去最高の運用益(H24) 5,898千円）＞

（1）基金残高等について

（円）

	前年度(H29)残高 A	運用益(H30) B	H30事業費 C	取崩額 D=B・C	H30年度末残高 E=A+D
ふる水基金	558,092,575	535,598	12,763,458	12,227,860	545,864,715
棚田基金	371,717,060	356,735	5,373,733	5,016,998	366,700,062
合計	929,809,635	892,333	18,137,191	17,244,858	912,564,777

（2）基金を活用した事業一覧

事業名	H30実績 (うち基金)	R1計画 (うち基金)	事業目的
a) 中山間ふるさと秋田づくり総合支援事業 (事業年度：H25～H30) b) 魅力ある秋田の里づくり総合支援事業 (事業年度：R1～R4)	6,061,983 (6,061,983) ※1、※2	10,803,000 (8,803,000) ※1	a)地域資源を活用した新たなビジネスモデルの創出を図ることで、地域づくりを総合的に支援する。 b)地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成するため、計画策定から拠点整備、実践活動までを総合的に支援。
秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業 (事業年度：H28～R1)	4,099,027 (2,261,027) ※2	9,232,000 (7,882,000) ※2	多面的な機能を有する里地里山を国民共有の財産として後世に引き継いで行くため、「守りたい秋田の里地里山50」の認定地域が、県内外の企業や大学等と協働で行う里地里山の保全活動等に対し総合的に支援する。
Cool Akita 農泊推進事業 (事業年度：H29～R3)	12,493,059 (9,814,181) ※1	14,473,000 (5,000,000) ※1	グリーン・ツーリズムの拠点地域の育成や、地域の魅力の再発見・情報発信などを通じて、県内のグリーン・ツーリズムを総合的に推進する。
計	22,654,069 (18,137,191)	34,508,000 (21,685,000)	

上記の※1は「ふる水基金」、※2は「棚田基金」を示す。

秋田県中山間地域土地改良施設等保全基金(ふる水基金・棚田基金)について

県基金名	秋田県中山間地域土地改良施設等保全基金	
国基金名※ (略称)	中山間ふるさと水と土保全対策事業 <u>(ふる水基金)</u>	中山間ふるさと水と土保全推進事業 <u>(棚田基金)</u>
基金造成目的	中山間地域における土地改良施設等の利活用及び保全整備の促進、地域住民活動を推進する人材の育成等を行う。	棚田保全への国民的理解の醸成と参加の促進、保全活動に対する支援を行う。
基金対象区域	①中山間地域5法指定地域(全域又は一部) ・過疎地域自立促進特別措置法 ・山村振興法 ・離島振興法 ・半島振興法 ・特定農山村地域法 ②県同様の「ふる水基金」を造成している市町村	①棚田等地域 ・自然傾斜を緩和した農地が階段状に分布している主傾斜1/20以上の農地の面積が当該地域の全農地の面積の1/2以上を占める地域。
対象事業	土地改良施設及びこれと一体的に保全することが必要と認められる農地の機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るために必要な事業。 ①調査研究 地域住民活動の活性化を通じた土地改良施設及び農地の機能の強化・保全に関する対策等の作成や調査。 ②研修事業 地域住民活動の活性化に関する指導等を行う人材の育成等。 ③推進事業 地域住民の意識の向上及び保全対策事業の必要性等の啓発普及等。	棚田地域等の農地等の保全・利活用に係る活動の活性化を図るために必要な事業。 ①保全ネットワーク推進事業 保全活動への都市住民等の参加推進を図るたに行う普及啓発等 ②保全活動推進事業 保全活動の活動計画の策定等 ③保全活動支援事業 住民組織が行う保全活動に要した経費等の助成
造成額 【H12年度末】	660,000千円 (造成期間:H5~H9)	400,000千円 (H10~H12)
	1,060,000千円	
造成額負担割合	国1/3、県2/3	国1/3、県2/3

※秋田県中山間地域土地改良施設等保全基金は、二つの国事業(基金)により構成されている。

2. 魅力ある秋田の里づくり総合支援事業の創設について

(1) 新規事業の経緯

第3期ふるさと秋田元気創造プランの施策(加速化する人口減少への対応)に取り組むため、特に人口減少が著しい中山間地域において、地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成し、都市農村交流等による交流人口の拡大を図ることにした。

そこで、「中山間ふるさと秋田づくり総合支援事業(H25～H30)」を一部組み替え、令和元年度より「魅力ある秋田の里づくり総合支援事業」を新設した。

①第3期ふるさと秋田元気創造プラン加速化パッケージ

I 加速化する人口減少への対応

3 交流人口の拡大

○山菜、伝統野菜、溪流づくりなど中山間ならではの地域資源を活用した魅力ある里づくり

②事業の組み替え

<H25～H30>

中山間ふるさと秋田づくり総合支援事業

(1)魅力あふれる農山村創生事業(H30 終了)

①ふるさと秋田応援事業

(2)活力ある農山村チャレンジ事業

①農福連携就労促進事業

②再生可能エネルギーの普及啓発(H30 終了)

③地域活性化人材の育成

④里地里山の保全対策

⑤多面的機能の普及・啓発

<R1～R4>

魅力ある秋田の里づくり総合支援事業

(1)魅力ある秋田の里づくり総合支援事業

①魅力ある里づくりモデル事業(新規)

(2)活力ある農山村チャレンジ事業(統合)

①ふるさと秋田応援事業

②地域活性化人材の育成・活用事業

③多面的機能の普及・啓発

④農福連携就労促進事業

(2) 魅力ある里づくりモデル事業について (R1新規)

①事業目的

人口減少の著しい中山間地域において、山菜や伝統野菜、里地里山や水辺環境など中山間地域ならではの地域資源を活用した魅力ある里づくりを促進し、交流・関係人口の拡大により中山間地域の活性化を図る必要がある。

そこで、中山間地域ならではの地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成するため、計画策定から**拠点整備**、実践活動までを総合的に支援する。



②事業目標

都市部にはない地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を6地域育成し、その取組を普及・啓発することで、交流人口の拡大及び地域に愛着と関心を持つ人が増えるような魅力ある里づくりを目指す。

③事業メニュー

中山間地域ならではの地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成するための計画策定から実践活動に対して、3年間で最大総額530万円を支援する。

事業メニュー	事業主体	実施方法	支援額/年	支援期間	総支援額/3年
① 計画策定事業	県	委託	定額、上限30万円	最大1年	最大 530万円
② 活動支援事業	県	委託	定額、上限100万円	最大3年	
③ 拠点整備事業	実践団体	補助金	定額、上限100万円	最大2年	

④モデル地域の選定状況

地域名	目指す姿	主な事業	定量目標
①大仙市 大沢郷宿 〈実践団体〉 大沢郷三地区結々会	湧水や伝統文化、祭り等の魅力ある地域資源を有効活用した交流人口の拡大及び拠点整備を実施し、希薄化しつつある地域コミュニティの再形成、小さな拠点づくりを推進する。	・雄清水を活用した水車整備事業（地域のシンボルとして） ・旧亀田街道遊歩道整備事業（亀田街道まつりを一般に開放に向けた受入体制整備） ・椒沢番楽継承事業（番学を継承する後継者育成のための講習会） ・体験農園事業	・雄清水の利用者 36,000人(H30)→50,000人(R4) ・亀田街道雄清水まつりの参加者 250人(H30)→400人(R4) ・農泊等、農業体験の受入人数 30人(H30)→100人(R4) ・椒沢番学の新規参加者 0人(H30)→3人(R4)
②湯沢市 秋ノ宮 〈実践団体〉 地域力ワークスやまもり	空き家を活用した交流拠点を整備し、耕作放棄地や農山村資源、温泉地熱などの地域資源を組み合わせた活動で滞在型農山漁村地域の受入交流拠点地域を創出する。	・古民家改修等による拠点整備 ・里山サイクリングツアーの開催 ・旬の魅力×カフェ×商品開発 など	・体験交流プログラム参加者数 107人(H30)→300人(R4) ・体験交流プログラム体験料収入 410千円(H30)→1,500千円(R4) ・交流人口の目標 5,000人(R4)

⑤事業に対する地元の声

a)事業のメリット

- 事業を実施するにあたり地域及び組織のまとまりができ、地域の盛り上がりが見えた。
- 複数年にわたりハード・ソフト事業が継続出来る点が画期的です。

b)事業の改善点

- 申請書及び事業実施手続き等が複雑であり、地域住民だけでの実施はハードルが高い。

c)その他コメント

- 本事業を活用した地域同士で交流が行えたら秋田県全体がさらに元気になると思う。
- 全国的に名高い農業県、林業県「秋田」に対する農山村滞在型交流の機会を期待している来訪者は多い。しかし、農山村地域は期待に応える受入体制を構築できずにいた。
- スタート時における支援態勢として本事業は待ちに待った画期的な施策といえる。観光とは一線を置いた視点での地域構造変革事業として今後も拡大継続していただきたい。
- 県内の農山村滞在型交流拠点が開発、設置、育成されることで、国内はもとより国際的にも、豊かな秋田の風土が再認識され、交流人口・関係人口の増大、農林産物の生産流通の拡大、産地来訪者地型ツアー等の可能性が生まれる。

(3) 活力ある農山村チャレンジ事業 (H25～)

中山間地域等の農地等有する多面的機能の重要性の啓発を図るとともに、ふるさと水と土指導員等の地域活動を担う人材の育成と地域資源を生かした交流活動の支援、並びに、多様な形態での協働活動の構築を図り、持続可能な地域づくりの手法を検証する。

①ふるさと秋田応援事業

平成29年度までに26団体を支援し、地域活性化のモデル地域としてホームページでPR。

7) ふるさと秋田応援事業の実施団体一覧<H30実績> (新規4団体、継続2団体)

市町村	団体名	委託料	取組目的	実施内容
由利本荘市	(新規地区) ふるさと鳥海交流プロジェクト	300千円	子どもたちにふるさとと愛を育むとともに、交流人口の拡大により地域の活性を図る。	8月 西小菅(東京都)と鳥海(由利本荘市)のふるさと交流の開催 [参加者 23名]
能代市	(継続地区) NPO法人 常盤ときめき隊	100千円	将来の農村活性化の担い手となる小学生へ農業・販売体験を提供し、食育推進を図る。	5月～9月:常盤小学校、能代支援学校生徒への農業体験の実施 [参加者185名] 11月 常盤小学校・ピザパーティー [参加者 19名] 11月 常盤小学校・感謝の会 [参加者 45名]
能代市	(継続地区) 農事組合法人 アグリ檜山	63千円	農業の魅力発信及び子ども達への食育を図る	5月～10月:崇徳小学校への農業体験の実施 [参加者 25名] 11月 檜山納豆づくり体験 [参加者 20名] 11月 収穫感謝祭の開催 [参加者 33名]
由利本荘市	(新規地区) 農事組合法人 田高	243千円	農業の魅力発信及び子ども達への食育を図る。	9月 地元保育園児へのタマネギ収穫体験の開催 [参加者 70名]
由利本荘市	(新規地区) NPO法人 矢島フォーラム	200千円	地域再生を考える活動及び研修会を開催し、地域住民等の団結心と憧れを高める。	10月 鳥海町百宅地域の「さと歩き」の開催 [参加者 64名] 2月 地域を考えるワークショップの開催 [参加者名]
三種町	(新規地区) ザ・下岩川	200千円	ドジョウ養殖・販路を確立し、新たな地域産業の構築を図る。	10月 県立大近藤正准教授を招いたワークショップの開催 [参加者 7名] 2月:首都圏の市場調査 [参加者 5名] (ドジョウ料理店・駒形屋等)

1) 活動報告会の開催<H30実績>

開催日:平成31年3月7日(木)

研修名:平成30年度ふるさと水と土基金県内研修会

ウ) 実施状況写真<H30実績>



西小菅(東京都)と鳥海のふるさと交流の開催【H30】



農業法人により農業体験の受入【H30】



活動報告会の開催【H30】

エ) ふるさと秋田応援事業の実施団体一覧<R1計画・実績> (新規3団体、継続4団体)

市町村	団体名	委託料	取組目的	実施内容
由利本荘市	(継続地区) 農事組合法人 田高	委託料 100千円	農業の魅力発信及び子ども達への食育を図る。	8月 地元保育園児にタマネギ収穫体験の開催 [参加者 70名] 10月 トマト収穫体験の開催 (中止)
由利本荘市	(継続地区) ふるさと鳥海 交流プロジェクト	委託料 100千円	子どもたちにふるさと愛を育むとともに、交流人口の拡大により地域の活性化を図る。	8月 西小菅(東京都)と鳥海(由利本荘市)のふるさと交流の開催 in東京 [参加者 30名]
横手市	(新規地区) 秋田県南旭川 水系土地改良区	委託料 226千円	漁業協同組合と連携したCSR活動及び小学生等を対象とした体験教育活動の実施。	7月 横手城南小親子学習会として、横手川に住む水生生物観察とイワナの掴取体験を実施 [参加者 約200名]
三種町	田舎ぐらし大学みたね	委託料 300千円	通年で体験交流活動を実施するため、夏場のじゅんさい体験に続き、秋の果樹収穫体験の定着を目指す。	・リンゴ園の施設整備(看板製作等) ・広報活動(ポスター等の作成・ネット発信) ・交流事業(9月～11月で5回) リンゴ・ナシもぎ取り体験と生ジュースづくり 体験交流会の開催[参加者(予定) 約100名]
由利本荘市	(新規地区) 農家民宿、産 直やしお	委託料 300千円	農業体験の受け入れのための施設整備を実施したい	9月 農業体験の受入整備 10月 芋掘り体験の実施 [参加者 40人]
由利本荘市	(継続地区) NPO法人 矢島フォーラム	委託料 500千円	地域再生を考える活動及び研修会を開催し、地域住民等の団結心と憧れを高める。 鳥海ダム建設で沈む百宅地域を記憶にとどめる。	(1)さと歩き(トレッキング)を3コースで実証 ①6月:「檜山滝袖川林道さと歩き」 [参加者 27名] ②10月: [参加者 47名] ③11月: [参加者 〇名] (2)地域を考えるワークショップの開催 2月 [参加者(予定) 50名]
三種町	(継続地区) ザ・下岩川	委託料 500千円	ドジョウ養殖・販路を確立し、新たな地域産業の構築を図る。	①4月～: ドジョウの捕獲 [参加者 5名] ②7月 : 養殖池・稚魚の人工ふ化の視察 [参加者 5名] ③8月 : 新養殖池の造成 (事業費対象外) 町民祭やあきた元気村大交流会等での試食会の実施

オ) 活動報告会の開催<R1計画>

開催日: 令和2年2月頃(予定)

研修名: 令和元年度ふるさと水と土基金県内研修会

カ) 実施状況写真<R1計画>



②地域活性化人材育成・活用事業

[H30実績]・ふるさと水と土指導員等の育成・能力向上のため、県内研修会の開催及び全国研修会への派遣を実施。

- ・ふる水指導員を新たに5名認定（30名(H29) → 35名(H30)）

[R1計画]・H30同様、県内研修会の開催及び全国研修へ派遣

- ・H30認定のふる水指導員に対する物品支援（上限3万円）

③多面的機能普及・啓発事業

[H30実績]・県内の小学5年生に対して多面的機能の紹介パンフレットを配布（8,000部）

- ・県庁出前講座の実施（講義名：農業・農村と自然の関わり）
- ・秋田県ふるさと保全検討委員会の開催（N=1回）
- ・多面的機能紹介パンフの活用率は94%、小学校の総合学習で多く活用。

[R1計画]・H30に同じ

④農福連携就労促進事業

[H29実績]・農福連携に係るニーズ把握、障害者就労モデル実証

[H30実績]・シンポジウムの開催による農福連携に係る意識の啓発

- ・モデル実証のフォローアップ調査と事業推進に向けた関係機関への情報提供と連携強化

[R1計画]・福祉事業所へのアンケート及びモデル実証のフォローアップ調査の実施

- ・事例集の作成と活用による農福連携の推進

⑤里地里山の保全対策 他

[H30実績]・フォトコンテストの開催、里地里山50のPRパンフ及びカードの作成

- ・里地里山スタンプラリーの台紙作成（R1開催）

[R1計画]・秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業に移行



農福連携推進シンポジウム【H30】



多面的機能の紹介パンフレット
里地里山カード【H30】

3. 秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業の実施状況について

(1) 「守りたい秋田の里地里山50」推進事業

県が取り組んでいる「守りたい秋田の里地里山50」地域の募集や認定された地域をはじめとする里地里山の保全・継承に向け、首都圏において、その役割や魅力を広くPRするプロモーション活動やパンフレット作成等を実施。

平成30年度（実績）	令和元年度（計画）
○事業費 915,878 円	○事業費 4,071,000 円
○「守りたい秋田の里地里山50」認定地域数 5 地域（累計 37 地域）	○「守りたい秋田の里地里山50」認定地域数 12 地域（累計 49 地域）
○首都圏プロモーション事業 日時：平成31年1月12日(土)～13日(日) 場所：代々木公園 (東京都渋谷区代々木神園町) ※「AKITA ワンダフルフェスティバル」参加 内容：里地里山の役割や魅力のPR活動 (各種ポスター等の展示、パンフレット等の配布、簡易カレンダーの制作等)	○首都圏プロモーション事業 日時：令和元年8月24日(土) 場所：秋田県東京アンテナショップ「あきた美彩館」 (東京都港区高輪) 内容：里地里山の役割や魅力のPR活動 (各種ポスター等の掲示、パンフレット等の配布、認定地域の特産物PRとしてトマトビュレの試飲やそばの販促も実施)
	○「守りたい秋田の里地里山50」スタンプラリー 内容：・認定地域を巡るスタンプラリーを開催 (開催期間：5月1日～7月31日。賞品を準備。応募総数112名。) ・認定地域の標柱を制作。(37 地域)



平成30年度「守りたい秋田の里地里山50」認定地域 小沼地域（大仙市）



平成30年度首都圏プロモーション活動状況（東京都 代々木公園）

(2) 里地里山のサポート活動支援事業

認定地域において、県内外の企業や大学等を対象に里地里山サポーターを募集し、地域とサポーターが協働で行う保全活動等に対して支援。

(補助率：定額、上限額：500 千円)

<H30 実績> 事業費 2, 4 4 5, 1 4 9 円

地域名	主な活動内容	事業費
小坂町 大地地域 【新規】	・地元十和田高校生との地域特産物（ひまわり）の刈取り体験を実施 ・商品（ひまわり油）のパッケージデザイン委託 ・地域PR看板の制作	円 500,000
北秋田市 阿仁戸島内地域 【継続 H29～】	・外食産業の(株) スープストック及び米卸の千田みずほ(株)、JA 等の社員との田植え作業と稲刈り作業を実施	500,000
藤里町 横倉地域 【継続 H29～】	・里地里山サポーター（応募）との田植えや稲刈り等の農業体験の他、虫探等の企画を実施	500,000
男鹿市 安全寺地域 【継続 H29～】	・里山の美田オーナー（応募）等との田植え、案山子づくりを実施 ・販促イベントの実施（東京都）	500,000
計		2,000,000
※その他経費 事務費（旅費・需用費等） 4 4 5, 1 4 9 円		

○平成 30 年度までに支援した地域数

5 地域

〔小割沢地域（鹿角市）、阿仁戸島内地域（北秋田市）、横倉地域（藤里町）、安全寺地域（男鹿市）、大地地域（小坂町）〕

○平成 30 年度 里地里山のサポート活動支援事業の実施状況



【大地地域（小坂町）】

十和田高校生との向日葵の刈取体験(H30 秋)



【阿仁戸島内地域（北秋田市）】

(株) スープストック等の企業との田植体験(H30 春)



【横倉地域（藤里町）】
棚田オーナーとの稲刈体験(H30 秋)



【安全寺地域（男鹿市）】
美田オーナーとの田植&案山子づくり体験(H30 春)

<R1 計画> 事業費 4, 211, 000 円

新たな協働活動実践地域として、6 地域を支援する計画である。

〔大里地域（鹿角市）、黒土地域（五城目町）、横岡地域（にかほ市）、
小沼地域（大仙市）、三又地域（横手市）、土沢地域（湯沢市）〕

（３）里地里山の営農継承事業

認定地域において、耕作放棄を防止し、里地里山の保全・継承を支援するため、新たな農地の借受者に対し、借受のインセンティブとなるよう、賃借料相当の助成金を交付する

- ア 助成対象 農地中間管理機構等から新たに農地を借り受ける農業者
イ 補助率 定額（借受初年目：10 千円／10 a、2～3 年目：5 千円／10 a）

<H30 実績>

地域名	面積	助成金額
北秋田市 阿仁戸島内地域	新規74a、継続87a	93 千円
八峰町 中台地域	継続68a	34 千円
にかほ市 横岡地域	新規147a	147 千円
大仙市 小沼地域	新規143a	143 千円
東成瀬村 岩井川地域	新規92a、継続271a	227 千円
東成瀬村 手倉地域	継続188a	94 千円
計	新規456a、継続614a	738 千円

<R1 計画> 事業費 950, 000 円
10 ha（6 地域）

（４）今後の取組方針

令和２年度以降においても、「守りたい秋田の里地里山 50」認定地域の継続的な支援を行うとともに、認定地域数においても、目標認定地域数（50 地域）にとらわれず、新たな地域の拡大及び推進を図るものとする。

「秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業」

「守りたい秋田の里地里山50」認定地域を支える“3つの支援”

①認定地域の魅力を情報発信！ (推進事業)

県ホームページへの掲載や写真コンテスト等の開催により、地域の特色や伝統文化等を含めた魅力を広くPRします。



※里地里山
50カード



美しく豊かな写真コンクール入賞作品【鹿角市 小割沢地域】

②保全活動等への支援！ (サポート活動支援事業)

認定地域と県内外の住民等と協働で実施する地域の保全活動等を支援します。



保全活動の他、地域PR活動や地域特産物の商品検討も支援します。

○支援対象：農業者等で組織される団体
○補助額：50万円／年度（上限）

③里地里山の耕作放棄地を防止！ (営農継承支援事業)

里地里山の保全・継承を図るため、新たに農地を借り受ける農業者に対し支援し、耕作放棄地の防止を図ります。



地域農業の保全・継承には地域内外の担い手農家のサポートも必要であり、農地集積による取組を支援します。

○支援対象：借り受け後の経営面積が50a以上となる農業者 他
○補助額：耕作初年度 10千円/10a、2～3年目 5千円/10a

4. C o o l A k i t a 農泊推進事業の実施状況について

(1) 拠点地域の育成・魅力再発見事業

① グリーン・ツーリズム拠点地域育成事業

大館市をグリーン・ツーリズムの拠点地域となるモデル地域として、外国人を含めた多様な旅行客を受け入れるため、W i - F i 環境や多言語対応などの施設整備を行うほか、地域資源を活かした体験メニューの開発など、受入態勢の整備を支援

<H30 実績>

○W i - F i 環境整備、クレジット決済システムの導入

○地域散策マップ（英語 1,000 部、日本語 1,000 部）の作成を実施

<H31 (R1) 計画>

○H30 に引き続き、大館市の取組を支援

<H30 取組事例>



宿帳 外国語表記【H30】



第 16 回 オーライ！ニッポン大賞 受賞【H30】

② 農村での交流拡大ブラッシュアップ事業【国庫 100%事業】

県内 4 地域（由利本荘市・仙北市・美郷町・湯沢市）に専門家を派遣し、体験メニュー等を磨き上げ、旅行会社のツアー商品として提供できるメニューを開発するほか、県内の農山漁村振興交付金実施団体の取組をインターネット等で情報発信。

<H30 実績>

○由利本荘市、仙北市、美郷町、湯沢市の 4 地域で専門家派遣による既存の体験メニュー等の磨き上げを実施。

○県内の農山漁村振興交付金を活用した実施 9 団体の取組を w e b で情報発信の実施。

<H31 (R1) 計画>

○農家民宿等における地域特産物を生かした飲食メニューの開発（県北・県央・県南の計 3 地区）

<H30 取組事例>



webでの情報発信【H30】

③ クール秋田！グリーン・ツーリズム魅力発見事業

農山漁村地域における体験の中から、県外の人や外国人目線でCool（クール）と感じる魅力ある点を発見し、体験提供者に気づきを与え、インターネット等による情報発信を行うための記事や動画を作成した。

<H30 実績>

○Coolな動画を18本作成

○日本語800字程度の記事を作成し、これを3言語（英語、台湾語、タイ語）で県HPへの掲載。

<H31（R1）計画>

○H29～H30に作成した動画38本を編集及び発信

<H30 取組事例>



きりたんぽ作り体験（大館市）【H30】



西馬音内盆踊り（羽後町）【H30】

(2) 地域の魅力発信力強化事業

① 情報発信

<H30 実績>

農村情報誌「ぐりーんのおと」H30 年度リニューアル版 9,000 部を発行

<H31 (R1) 計画>

外国人旅行者向けのグリーン・ツーリズムマップの作成

② 農村誘客キャンペーンの実施

グリーン・ツーリズム活動の一層の認知度向上を図るとともに、農業・農村の多面的機能に係る理解を深めるため、県民（消費者）を対象とした農村体験、見学ツアーを実施。

<H30 実績>

○里山でこころ豊かに 秋満喫ツアー（三種町・男鹿市）

平成 30 年 11 月 3 日実施 募集人数 30 名 参加者 31 名

<H31 (R1) 計画>

○東由利で夏満喫 キャベツ畑と裏山遊び（由利本荘市）

令和元年 8 月 4 日実施 募集人数 30 名 参加者 6 名

○東由利で雪中キャベツの収穫体験バスツアーを実施（由利本荘市）

令和 2 年 2 月～3 月実施予定

<H30 取組状況>



キウイのもぎ取り体験（三種町）【H30】



こおひい工房珈音 コントラバスの生演奏
（男鹿市）【H30】

(3) 支援体制強化事業

① グリーン・ツーリズムサポーターの養成

農家と外国人旅行者間の通訳や旅行者に対するサポート及び農山漁村をPRする「秋田グリーン・ツーリズムサポーター（以下「サポーター」という。）」を養成するため、研修（全3回）を実施。

<H30 実績>

○第1回目：平成30年7月16日 大仙市

ファーム・イン・ナチュレ京美園 参加者 6名

○第2回目：平成30年10月20日～21日 大館市

陽気な母さんの店、農家民宿酒こし舞ほか 参加者 21名

○第3回目：平成30年12月8日 大仙市

もみじ庵（アグリグループとんぼ） 参加者 19名

○全3回の研修のうち、2回以上参加した人をサポーターとして認定。（平成30年度サポーター認定者数は12名）

<H31（R1）計画>

○第1回目：令和元年11月2日 藤里町

○第2回目：令和元年12月14日～15日 仙北市

○第3回目：令和2年1月18日 湯沢市

<研修参加者数及びサポーター認定者数一覧表>

	第1回 参加者数	第2回 参加者数	第3回 参加者数	延べ人数	実参加者数	認定者数
H28	19	12	16	47	30	14
H29	9	13	16	38	27	8
H30	6	21	19	46	31	12
R1	16	—	—	—	—	—
合計	50	46	51	131	88	34

② グリーン・ツーリズムコーディネーターの養成

地域に訪れる訪問者に農林漁業体験をはじめとする様々な体験企画を提供し、地域内での調整を行う「グリーン・ツーリズムコーディネーター」を養成を実施。

<H31（R1）計画>

○グリーン・ツーリズムインストラクター育成スクール コーディネーターコース

令和元年11月19日～22日 美郷町